

第57期 第2四半期のご報告

2020年4月1日～2020年9月30日

株主通信

NEW



近年のインフラ長寿命化に伴い、
長期的な信頼性や更新が必要な
電気設備等への使用が期待される
拡底式「メタルアンダーカットアンカー」

サンコーテクノの製品は、
皆様の身近な「安全」を
支えています。



サンコーテクノ株式会社

PHILOSOPHY

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社是

創り、活かし、満たす
人のお役に立つために、創造提案型企業をめざす

社訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること、
それは「心の経営」です。

心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。

こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを目指しております。



「一般社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業
プログラム「倫理17000」の
第1号に認定

サンコーテクノグループ

S.T.G VISION 2020

ファスニング

私たちは **独自の締結システムで、**
安全・安心を提供する モノづくり集団を追究します

5つの視点

お客様へ…

お客様の期待を超える価値創造を実践し、
“**SANKO** ブランド=人”を実現します

お取引先様へ…

共育・共創・共生を
キーワードに共鳴し合える
関係を構築します

社会へ…

事業を通じて、安心して
暮らせる豊かな
環境づくりに貢献します

株主様へ…

持続的な利益創出と
株主還元により企業価値の
向上を図ります

社員へ…

自身の成長とチームの
達成感(喜び)を共有できる
職場環境を構築します

S.T.G スローガン

グループ一丸となって、
人財・品質・実践力を磨き モノづくり企業を究めます

SDGsへの取り組み

当社グループは、SDGs(持続可能な開発目標)についても、
さまざまなステークホルダーと共に、達成に貢献していきます。



FLAGSHIP

「あと施工アンカー」とは？

木材等に物を固定したり、留め付ける際に釘を使用するよう
に、コンクリート等に物を固定する際には「あと施工アン
カー」が使用されています。

当社は「あと施工アンカー」市場においてトップシェアを
維持しております。



釘



あと施工アンカー

「あと施工アンカー」は、街の安全と安心をサポートしております



自動販売機の固定に



フェンスの取付けに



ジェットファンの取付けに



室外機の取付けに

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症
に罹患された皆様に謹ん
でお見舞い申し上げますと
ともに、罹患された皆様の
早期回復と、感染の早期終
息を心よりお祈り申し上げ
ます。



代表取締役社長

洞下 英人

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申
し上げます。

ここに、当社の2021年3月期第2四半期（2020年
4月1日～2020年9月30日）の業績と今後の取組
みについてご説明する株主通信をお届けいたしま
す。本誌を通じて、当社へのご理解を深めていただ
ければ幸いに存じます。

激変する事業環境に着実に適応し、 「安全・安心・環境」の価値を提供し続けてまいります。

2021年3月期第2四半期連結業績と通期業績・配当見通しにつきまして

当社グループの2021年3月期第2四半期は、地方圏を中心に堅調なインフラ・土木関連需要が継続したほか、機能材事業の売上高が拡大したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により都市圏の建築設備工事が減少したことなどから、売上高は8,545百万円（前年同期比2.2%減）となりました。一方、営業利益につきましては、

従来から注力してきた業務効率化や販管費の削減のほか、M&Aにより2019年から連結化した成光産業の利益貢献もあり、同16.4%増の662百万円となりました。

2021年3月期通期の業績見通しは、期初発表通り、売上高は前連結会計年度比2.7%減の18,000百万円、営業利益は同22.4%減の1,170百万円を予想しております。また、2021年3月期の1株当たりの期末配当金は、前期と同じ26円とさせていただく見通しです。当社グループは引き続き、将来の事業展開・経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続していくことを基本方針としてまいります。



事業環境認識

足元では新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が世界各地で再び拡大しており、コロナ禍の影響は、少なくとも今後1年間は続くのではないかと予測しています。そこで当社グループは、コロナ禍の影響を受けにくい地方圏でのインフラ・土木関連需要の更なる取込みを継続するとともに、従来の「モノ売り」を中心とするビジネスモデルから、「製品」「技術」「サービス」をバランス良く提供しながらお客様の課題を解決する「コト売り（＝ソリューション営業）」へのシフトを加速してまいります。

加えて、人手不足が続く、施工者のスキルにバラつきが生じている建設現場において、あと施工アンカーをはじめとするファスニング製品の高い強度や性能が安定して発揮されるよう、より施工しやすい製品を開発し続けることで、当社のミッションである「安全・安心・環境」という価値をお客様と社会に提供し続けてまいります。

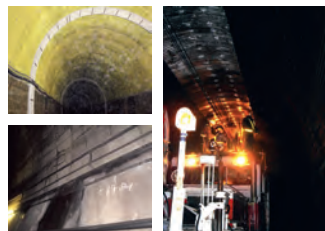
土木現場を効率化・省力化する当社製品が、地方圏を中心に伸びています



コンポジットアンカー

【樹脂併用型・コンポジットアンカー】

- ① オールステンレス
- ② 簡単短時間施工
- ③ 樹脂併用のため、安定した強度を発揮



トンネル内コンクリートの剥落防止や修繕など、幅広い用途で「安全」「安心」を提供

具体的施策

現中期経営計画の最後の6カ月である下半期は、コロナ禍という厳しい事業環境を、経営基盤を強化するためのチャンスとして活かすことで、長期安定成長への道筋を確かなものにしてまいります。具体的には、「コト売り（＝ソリューション営業）」を加速するべく、本年4月に社長直轄組織とした各営業拠点において、地域特性をふまえた販売戦略を更に強化し、進めてまいります。また、リモート営業やオンライン会議を積極的に拡大していくなど、「ウィズコロナ」時代に即した営業スタイルを推進してまいります。

収益の柱であるファスニング事業では、当第2四半期においても、オンラインでの商品説明やお客様との勉強会、社内のオンライン研修等を実施し、各種業務のスピードアップや効率化、人財育成の手段として有効であることを確認できました。また、商品開発に向けた顧客ニーズの把握についてオンラインで実施する取組みをスタートしており、現場の施工管理についてもオンライン化が予測されることから、これらのDXの取組みを通じて、事業競争力だけでなく、ワークライフバランスの更なる向上にもつなげていく構えです。

第2の収益の柱として育成中の機能材事業においては、ファスニング事業と同様にDXに注力する一方、2019年に連結化した成光産業と浦和電研を含むグループ連結経営を強化することで、新たな事業機会を着実にとらえてまいります。特に、「ウィズコロナ」を背景とする食品や物流関係の需要拡大に伴い、成光産業の包装機器等の事業機会が拡大していることから、昨今の環境問題や自動化・省人化ニーズに対応した包装素材および包装機器の提案を迅速に推し進めてまいります。アルコール検知器については、機器販売は停滞を余儀なくされたもののメンテナンス需要が足元で回復し始めていることから、今後も機能材事業

をトリガーとする事業ポートフォリオ改革に注力し、ファスニング事業と合わせた連結売上高200億円の達成を目指してまいります。

海外事業については、当第2四半期の売上高は前年同期比31.4%減の349百万円となりました。今後の経済活動の回復やアンカー・油圧工具需要の動向を注視し、市場回復の兆しが見え次第、成長戦略を再構築してまいります。



新たなニーズを取り込み、
事業機会が
広がり始めている
成光産業の取扱製品

次期中期経営計画の方向性およびESG・SDGsへの取組み

来年4月から開始予定の次期中期経営計画の詳細は次号の株主通信にてご説明する予定ですが、世界の経済活動や社会のあり方が大きな転換を迎えているなかで開始する同計画においては、事業環境の変化に合わせた戦略をスピーディに繰り出すことが重要であることから、人財育成とDXの更なる強化を重点戦略とする見込みです。特に人財育成においては、AIやロボットでは対応しにくい未知の世界での思考力や判断力を養い、個々の人財の価値を磨いていくための仕組みを構築していきます。そのための布石として、本年4月、人財評価の軸足を定量評価から定性評価へシフトし、当社全体のミッションである「安全・安心・環境」を個々人のミッションに落とし込み、その実現を上司や事業本部がサポートする取組みを開始しました。また、経営層についてもこの考え方を適用し、執行役員は当社単体、取締役はグループ連結経営に注力することを

ミッションとし、執行役員への権限移譲を進めるなど、コーポレート・ガバナンスの進化にも注力しています。

環境・社会への取組みにおいては、本社・流山事業所に設置している太陽光発電を今後新設する事業拠点にも拡充し、自社利用していく計画であるほか、女性従業員の更なる活躍や働きやすさの改善に向けた「女性活躍推進協議会」の活動では、現場から寄せられるさまざまな提案を取り込みつつ、各現場のリーダーの意識を変えることで、全体的変化につなげる取組みを進めています。

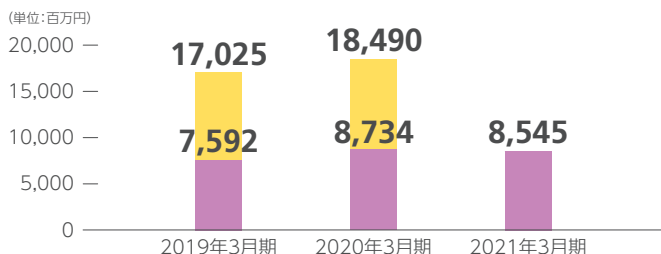
SDGsへの取組みにおいては、各事業セグメントにおけるビジネスを真摯に継続することで、関連性の深いSDGs目標への貢献に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

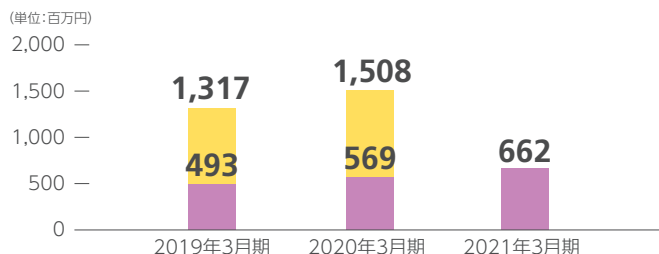
HIGHLIGHTS 連結財務ハイライト

当第2四半期は、新型コロナウイルス感染症による一部工事の中断の影響があったものの、インフラ整備等の需要により、徐々に安定化傾向がみられました。コロナ前の水準への回復には時間を要するものの、成長戦略のキーワードである「安定供給」「安定品質」「市場創出」の一層の促進に努めた結果、売上高は8,545百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益662百万円（同16.4%増）、経常利益663百万円（同15.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は450百万円（同23.2%増）となりました。

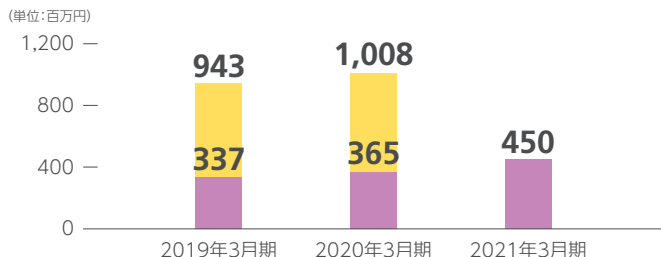
売上高



営業利益

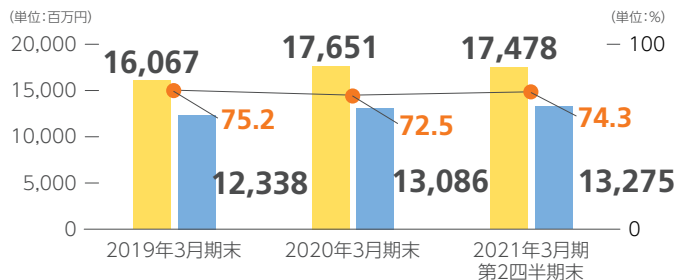


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

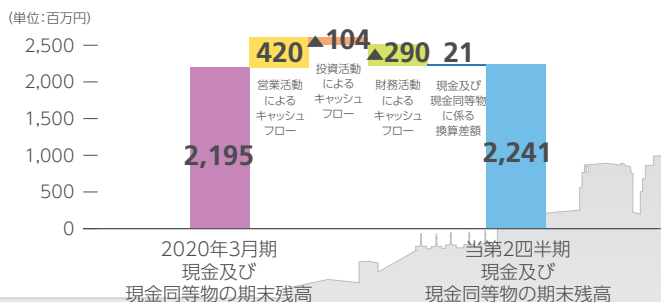


※2020年3月期第2四半期の利益項目は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い過及修正しています。

総資産・純資産・自己資本比率



連結キャッシュフロー計算書の概要



2021年3月期通期業績予想

売上高	18,000百万円
営業利益	1,170百万円
経常利益	1,190百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	800百万円

OVERVIEW セグメント別概況

ファスニング事業

74.0%

各種設備工事等の需要は、民間工事・公共工事ともに前年を下回ったことから、主力製品であるあと施工アンカーの販売は減少いたしました。また、完成工事高が増加した一方、ドリル・ファスナー製品の販売、海外売上高については減少し、総じて軟調な推移となりました。この結果、当セグメントの売上高は6,322百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント利益は766百万円(同2.2%減)となりました。

●アンカー関連

- 金属系アンカー
- 接着系アンカー
- その他のアンカー類



●ドリル・電動工具関連

- 大口径・小口径ドリル
- アンカー施工ツール
- 確認試験機



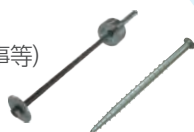
●ファスナー関連

- サイディング用ファスナー
- ルーフィング用ファスナー



●工事関連

- 建設関連(耐震補強工事)
- 土木関連(一面耐震補強工事等)
- 太陽光関連



機能材事業

26.0%

電動油圧工具関連の販売が国内・海外ともに前年を下回る水準で推移したほか、電子基板関連、FRPシート関連およびアルコール検知器関連も減少した一方、前年同期より新たに加わった包装・物流機器関連の売上高が増加いたしました。この結果、当セグメントの売上高は2,223百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は292百万円(同50.0%増)となりました。

●FRPシート関連



●各種測定器、電子プリント基板関連



●電動油圧工具関連

- 鉄筋カッター
- 鉄筋ベンダー等



●包装・物流機器関連



関連性の深いSDGs目標



製品情報

2020年4月

国土交通省・新技術情報提供システム (NETIS) に登録

4つの特長(優れた施工性、コストダウン、信頼の耐久性、環境に配慮)をもち、仮囲いや簡易柵の基礎杭に使用いただいているスパイラル付き鋼管杭「マルチスクリュー Tタイプ」が、NETISに登録となりました。

国土交通省推奨新技術

NETIS

登録No. KT-200026-A



コーポレート・ガバナンス

2020年6月

譲渡制限付株式報酬制度を導入

株主の皆様との一層の価値共有を進めるため、取締役に対する新たなインセンティブ制度として、譲渡制限付株式報酬制度を導入いたしました(2020年6月株主総会決議事項)。



展示会

2020年7月/インテックス大阪

「メンテナンス・レジリエンスOSAKA2020」 第12回インフラ検査・維持管理展に出展

紫外線硬化型FRPシート「eシート」、スパイラル付き鋼管杭「マルチスクリュー」を中心に展示を行いました。



◀ 紫外線硬化型FRPシート「eシート」

製品情報

2020年10月

拡底式「メタルアンダーカットアンカー」新発売

アンカー自体が孔壁を削りながら拡底を行う「メタルアンダーカットアンカー」を発売いたしました。大きな拡底部を少ない作業工程で正確に形成できるほか、アンカーと専用ツールに施された目視確認の機能により、確実な施工管理が可能となります。また、使用後の抜取りも可能であることから、長期的な信頼性や更新が必要とされる用途への使用が期待されます。



拡底形成



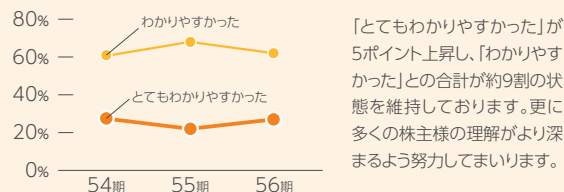
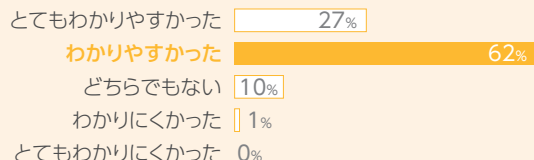
アンカーが孔壁を円錐形状に形成しながら拡底

QUESTIONNAIRE RESULTS

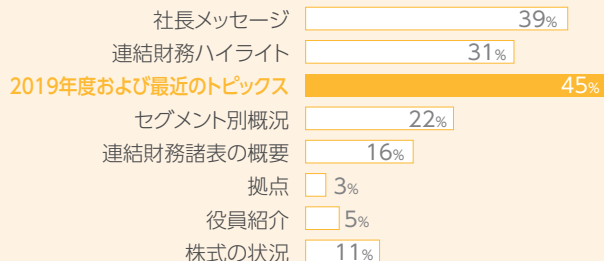
株主様アンケート結果のご報告

アンケート回答結果（％は単位未満四捨五入）

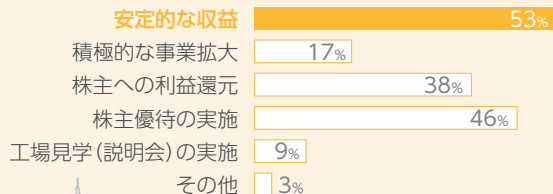
Q1 今回の株主通信のご感想はいかがですか？



Q2 特に興味を持ったページはどこですか？（複数回答可）

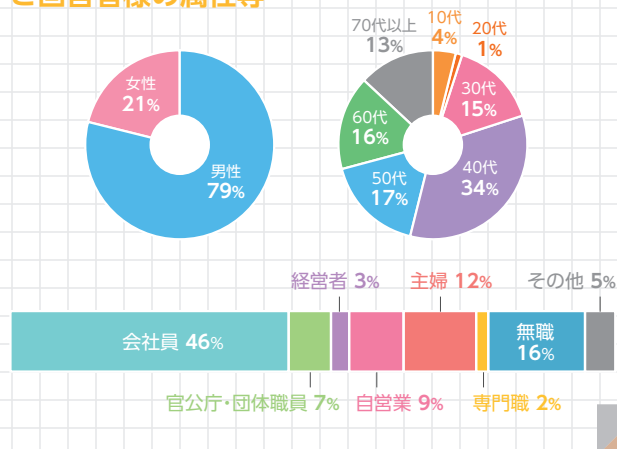


Q3 今後、当社に何を期待しますか？（複数回答可）

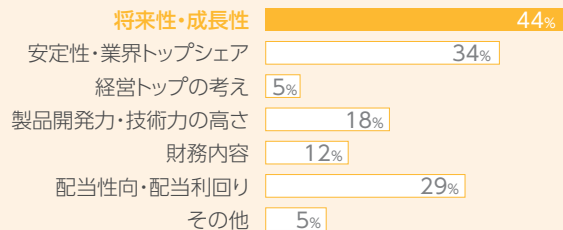


前号「株主通信」第56期事業のご報告において実施させていただきました「株主様アンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。以下に、アンケート結果の一部をご報告いたします。

ご回答者様の属性等

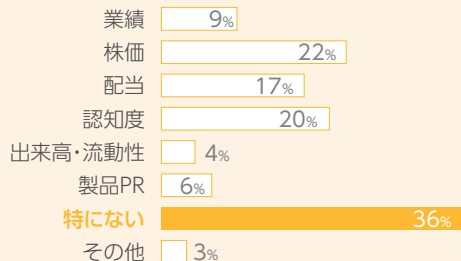


Q4 当社株式の購入理由は何ですか？（複数回答可）

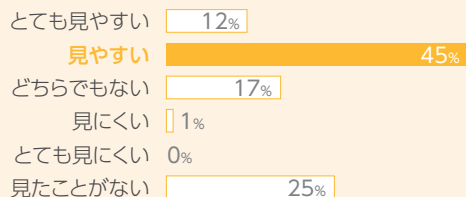


「安定性・業界トップシェア」「製品開発力・技術力の高さ」など、全項目で昨年とほぼ同様のご支持をいただいております。株主様のご期待に沿えるよう、今後とも長期安定成長への取組みに注力いたします。

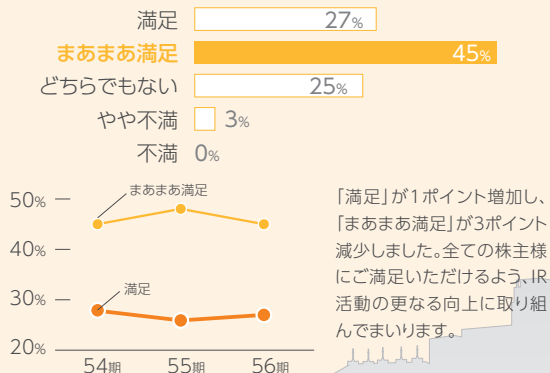
Q5 当社に対する不満はありますか？（複数回答可）



Q6 当社ホームページ、IRサイトについて感想はいかがですか？



Q7 当社のIR活動についての評価を教えてください



役員（2020年9月30日現在）

代表取締役社長	洞下 英人
常務取締役	洞下 正人
常務取締役	八谷 剛
社外取締役（監査等委員）	松岡 省一
社外取締役（監査等委員）	岩城 龍夫
社外取締役（監査等委員）	佐藤 靖

株式の状況（2020年9月30日現在）

発行可能株式総数	34,000,000 株	株主総数	2,700 名
発行済株式の総数	8,745,408 株	単元株主数	1,898 名

大株主（2020年9月30日現在）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 英人	1,160	14.35
東京中小企業投資育成株式会社	720	8.90
有限会社サンワールド	680	8.40
サンコーテクノ社員持株会	344	4.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	338	4.17
新井 栄	262	3.24
洞下 照夫	215	2.65
佐藤 静男	191	2.36
株式会社みずほ銀行	178	2.20
MSIP CLIENT SECURITIES	166	2.05

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式(657千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

IR 情報はこちらをご覧ください

サンコーテクノ

Q 検索

⇒ トップ画面 ⇒ IR 情報



INFORMATION



株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3カ月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日（中間配当を行う場合）
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人特別 口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.sanko-techno.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない 事由によって電子公告をする事ができない場合 は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概要

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	323名（連結583名）（2020年9月30日現在）
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535 FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 三井住友銀行 りそな銀行 千葉銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材（あと施工アンカー・ドリルビット・ファスナー等）、 複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入
連結子会社	株式会社IKK SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社スイコー アイエスエム・インタナショナル株式会社 浦和電研株式会社 成光産業株式会社 成光パック株式会社
非連結子会社	株式会社イーオプティマイズ
持分法適用 関連会社	株式会社サンオー

証券代行お問合せ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続き取扱店 （住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等）		みずほ証券：本店および全国各支店、プラネットブース （みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行：本店および全国各支店* ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続 お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。